

## 望月真理子さん

メイクアップアーティスト・ジュエリーデザイナー

### 「新天地でのキャリアの活かし方」

2017.10.25

空手道を営む父の家に生まれた

## 空

手家を父に持つ子どもは宿命か、小さい頃から空手に親しみ、私立の女子高校でもスポーツ科空手部に所属するほど空手づけの人生を歩んできた。中央学院大学には空手道で進学。大学での自由な雰囲気はとても新鮮であった。今までの道着姿の自分に疑問を感じ、新しい何かを探したくなった。今までの反動か、自由・ファッション・女性らしさを考える様になり、空手の世界とはかけ離れたメイクの世界に強く興味を持つ事になる。大学2年の時、原宿のメイクアップの専門学校に通う為に一年間バーテンダーのバイトでお金を貯めた。三年時からこの夜の間のコースに通い始めたがメイクの勉強はとても楽しく、ここが人生のターニングポイントになった。大学卒業の単位も目途がついていたので一年間、アルビオン化粧品との契約社員として働くことになった。担当した美容部員は販売が一番で、メイクの技を披露したいと考えていた自分の方向とは違うことを改めて感じた。親の為に卒業までには進む道をはっきりしなくてはと思い図書館、本屋、電話などで情報収集をした。メイクの世界で頑張りたい、特に芸能界の方々と触れ合う仕事をしたいと強く思っている。

た。高校インターハイの空手道で全国個人組み手で五位入賞できたのは。やはりベストを尽くし取り組んだからだと思いきその力を信じて取り組むことにした。

無給料時代から、渋谷でメイクの仕事に

## 卒

業前に電話でリサーチし、東京原宿のヘアサロンで師匠の下、三ヶ月間無給でメイクのアシスタントとしての修行。三ヶ月過ぎた頃、先生の仕事で芸能人の中谷美紀さんの



の撮影に関わり、自分もこんな仕事がしたいと強く思った。金銭的には無給で厳しかったが、これが本物の修行、ベストの選択だと考え、アルバイトや親、周りのサポートで何とか生活していった。三年後、少しずつ色々な方面から仕事を任せてもらえるようになる。お金の自由が欲しい、自分のスキルで生活がしたいと思い始めた頃、恵比寿の美容室からの引き抜きがあり、師匠の下を離れ、晴れてメイクアップアーティストとして活動を始めた。成人式や七五三、グラビアなどの仕事をこなす、作品を持ち歩いて芸能プロダクションやレコード会社へ売り込みにも回った。その後二十六歳の時、渋谷のマンションの一室を購入し仕事も充実していた時、富士市出身のデザイナーを目指す男性との出会いがあった。メイクの仕事は楽しいが、身も心も大変な労働であり、彼との結婚生活

に不安が膨らんでいった。

デザイナーの彼の影響から、メイクとトータルでジュエリーの事を考えて、自己表現の手段としてジュエリー制作の勉強も始めた。彼の海外出張に同行することで、新しい世界を見、体験したこと、東京で仕事をするだけが成功とか幸せでないことに気づき、自分の中の幸せの基準が少しずつ変わっていった。三十歳の結婚を機に富士に移住、彼とアトリエを構え有限会社を立ち上げた。

富士で子育て・そしてメイクの仕事も

三十一歳と三十四歳で女子を産出、今しかない子どもと幸せに過ごせる時間を楽しんで

いた。下の子が保育園に通うようになり少し手が離れるようになった時に、十二年関わったメイクのスキルを生かそうと考え始めた。そこで、今までのメイクを披露する立場から、人に伝える講師という仕事内容に変更して行くことにした。

子育てをしながらメイク講師として

プライベートレッスン、グループレッスンなど

広く一般の方への指導を始めることにした。更に、メイクをスキルにしたい方へのプロ育成コースのプランも作り様々な紙面への広告などへ掲載発信。現在は企業への女子社員へのメイク講座や講師として全国活動が出来るようになった。

若者のためのキャリアデザイン支援室

f きやる

TEL/FAX:0545-32-6958

協力 株式会社アイ・ノロード